

令和2年6月3日

各クラブ代表者様

市川市サッカー協会第4種委員会
委員長 石原孝幸

緊急のお知らせ④

- 一 市川市サッカー協会の決定を受けた、
第4種委員会の新型コロナウイルス感染症の対応について一

このことにつきましては、市川市サッカー協会の決定（別紙「【重要】新型コロナウイルス感染症の対応について（5月31日現在）」）のとおり、「日本サッカー協会 サッカー活動の再開に向けたガイドライン」に沿った対応となりますので、よろしくお願いいたします。

具体的には、当分の間、感染防止のために常にソーシャルディスタンス(少なくとも2mの距離を空けること)を配慮しなければならないため、ボディコンタクトが発生しない練習のみ実施可となります。ですから残念ながら、対人形式やゲーム形式の練習はボディコンタクトが必ず起こりますので実施は難しいこととなります。

また、市川市は7月1日から学校開放事業を再開するとの決定をしましたので、いよいよ4種委員会の各クラブの活動も再開できることとなりますが、市は再開時の配慮事項としてソーシャルディスタンスが確保できる活動を求めているため、活動する場の条件としてもソーシャルディスタンスの配慮が必須となりました。

ということは、私たちは期せずして「**ソーシャルディスタンスに配慮したトレーニング**」を考え実施していかなければならないことになったのだと思います。これはすべてのサッカー指導者に対し、同時に与えられた命題とも思っております。子ども達のため、皆さんで何とかより良い指導方法を模索して参りましょう。

さて、その一助として、今年度のサッカー教室（指導者講習会）第1回のテーマは「コロナ禍でのトレーニングのあり方」としました。講師の斎藤先生を中心に、参加予定者の皆さんと共に学習を深めたいと思います。

ややもすると安易に、コロナ禍前の練習をそのまま実施する方向に進んでしまいそうですが、ここはぐっと堪え、感染防止とサッカー活動の両立を模索して参りましょう。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。